

Intermediate Communication Skills

責任者名：田嶋 倫雄

学期：後期

対象学年：1年

授業形式等：外国語

◆担当教員

田嶋 倫雄(英語 准教授)

エリック・ラーstrom(外国語(英語) 兼任講師)

赤木 大介(外国語(英語) 兼任講師)

◆一般目標 (GIO)

Students will build on the presentation skills acquired in the previous semester. Students will do pair practice and small group work, and gain valuable cultural insights into a variety of stories and articles from around the world.

◆到達目標 (SBOs)

Students will be able to (SWBAT) speak confidently on a range of subjects for three minutes.

SWBAT use proper posture for a presentation with 80% accuracy.

SWBAT use proper structure for formal and informal presentations with 80% accuracy.

SWBAT use proper gestures for English presentations with 70% accuracy.

SWBAT use proper intonation with 70% accuracy.

SWBAT use proper eye contact with 80% accuracy.

SWBAT create proper visual aids with 85% accuracy.

◆評価方法

(ラーstrom)

20% homework

25% presentations

5% on-line quizzes

(赤木)

20% 授業内課題 In-class work, homework (Unit tasks)

26% 口頭課題 Presentation task (英作文)

4% 小テスト

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
エリック・ラーstrom	授業終了後に質問を受け付ける。	lerstromteaching@gmail.com	メール連絡の際は、必ず本文の最初に、学年番号

			とローマ字表記で氏名を記載すること。さらに、誰宛のメールなのか明記すること。
赤木 大介	授業終了後に質問を受け付ける。	nuakagi@gmail.com	メール連絡の際は、必ず本文の最初に、学年番号と氏名を記載すること。さらに、誰宛のメールなのか明記すること。
田嶋 倫雄	金曜日（12:00~13:00）に受け付ける	tajima.michio@nihon-u.ac.jp	メール連絡の際は、必ず本文の最初に、学年番号と氏名を記載すること。さらに、誰宛のメールなのか明記すること。

◆授業の方法

教員による講義に加え、語彙試験などの小試験を行う。また、講義中・講義後の課題に加えてスピーキングスキルの実績的な練習を行う。

昨今の現状を考慮し、本シラバスの予定は大きく変更になる可能性があります。授業スケジュール、授業進行方法、課題、各試験など常に変更になることがあります。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	Inspire 2	Pamela Hartmann, Nancy Douglas, Andrew Boon	センゲージラーニング	2014

◆DP・CP

[DP 6] コンピテンス：コミュニケーション力

コンピテンシー：医療をはじめとする様々な場面において、他者との円滑な意思疎通を行い、互いに価値観を共有し、適切なコミュニケーションを実践して自らの考えを発信することができる。

[CP 6] 他者の意見を尊重し、明確な意思疎通のもと、円滑な人間関係を構築するためのコミュニケーション能力を養成する。

◆準備学習(予習・復習)

事前準備をしっかりとし、授業に臨むこと。

◆準備学習時間

授業時間分相当を充てて予習と復習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

Comprehension Skills (1年前期)

Basic Communication Skills (1年前期)

Cultural Topics (1年後期)

Advanced Comprehension (2年前期)

Developing Communication (2年前期)

Advanced Communication (2年後期)

Medical and Dental English (3年前期)

Speaking Skills (2～5年後期)

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1-2		9.11	2 ～ 3	(ラーストロム) Unit 3: Media - Pecha Kucha Speech (赤木) オリエンテーション	(ラーストロム) ・ Students will review feedback about their first semester final presentations, manner, method, and class expectations (赤木) ・ 英語学習について目標を定められるように英会話の4技能について自己評価ができる。	エリック・ラーストロム 赤木 大介	A-7-2) 国際医療への貢献
3-4		9.18	2 ～ 3	(ラーストロム) Unit 3: Media - Pecha Kucha Speech (赤木) Unit5 Music (教) pp.51-53	(ラーストロム) ・ Students will know about media and the expectations for their midterm Pecha Kucha presentations (赤木) ・ 音楽に関するトピックを聞き取り、質問をしたり、答えたりできる	エリック・ラーストロム 赤木 大介	A-7-2) 国際医療への貢献
5-6		9.25	2 ～ 3	(ラーストロム) Unit 3: Media - Pecha Kucha Speech (赤木) Unit5 Music	(ラーストロム) ・ Students will understand common slide mistakes, how to overcome them and check their understanding of speech writing (赤木)	エリック・ラーストロム 赤木 大介	A-7-2) 国際医療への貢献

				(教) pp.54-55	・英語の記事を理解して内容の分析をしたり、コメントができる。		
7-8		10.2	2 ～ 3	(ラーストロム) Unit 3: Media - Pecha Kucha Speech (赤木) Unit5 Music (教) pp.56-58	(ラーストロム) ・ Students will review their understanding of manner, method and media, and how they are used in a presentation. (赤木) ・ 音楽に関連したトピックで自分の意見を述べる事ができる。	エリック・ラーストロム 赤木 大介	A-7-2) 国際医療への貢献
9-10		10.9	2 ～ 3	(ラーストロム) Mid semester presentation (赤木) Unit6 Journeys (教) pp.59-61	(ラーストロム) ・ Student midterm presentations ・ Discussion of the topic (赤木) ・ 旅行に関して英語で会話をする事ができる。	エリック・ラーストロム 赤木 大介	A-7-2) 国際医療への貢献
11-12		10.16	2 ～ 3	(ラーストロム) Mid semester presentation (赤木) Unit6 Journeys (教) pp.62-63	(ラーストロム) ・ Student midterm presentations ・ Discussion of the topic (赤木) ・ 英語の記事を理解して内容の分析をしたり、コメントができる。	エリック・ラーストロム 赤木 大介	A-7-2) 国際医療への貢献
13-14		10.23	2 ～ 3	(ラーストロム) Mid semester presentation (赤木) Unit6 Journeys (教) pp.64-66	(ラーストロム) ・ Student midterm presentations ・ Presentation feedback (赤木) ・ 旅の計画について説明をすることができる。	エリック・ラーストロム 赤木 大介	A-7-2) 国際医療への貢献
15-16		10.30	2 ～ 3	(ラーストロム) Mid semester presentation	(ラーストロム) ・ Student midterm presentations ・ Presentation feedback	エリック・ラーストロム	A-7-2) 国際医療への貢献

				(赤木) Presentation task1	(赤木) ・英語でのプレゼンを練習して、自分の意見を伝えることができる。	赤木 大介	
17 - 18		11.6	2 ～ 3	(ラストロム) Unit 4: Matter - Problem/Solution Speech (赤木) Unit7 Family (教) pp.71-73	(ラストロム) ・ Students will review feedback on their midterm presentations and know what is expected in their final problem/solution presentations (赤木) ・ 家族に関して聞き取り、質問をしたり、答えたりできる	エリック・ ラストロム 赤木 大介	A-7-2) 国際医療への貢献
19 - 20		11.13	2 ～ 3	(ラストロム) Unit 4: Matter - Problem/Solution Speech (赤木) Unit7 Family (教) pp.74-75	(ラストロム) ・ Students will understand research and review their understanding of method (赤木) ・ 英語の記事を理解して内容の分析をしたり、コメントができる。	エリック・ ラストロム 赤木 大介	A-7-2) 国際医療への貢献
21 - 22		11.20	2 ～ 3	(ラストロム) Unit 4: Matter - Problem/Solution Speech (赤木) Unit7 Family (教) pp.76-78	(ラストロム) ・ Students will understand reported speech and review their understanding of the media (赤木) ・ 家族について具体的な説明をすることができる。	エリック・ ラストロム 赤木 大介	A-7-2) 国際医療への貢献
23 - 24		11.27	2 ～ 3	(ラストラム) Unit 4: Matter - Problem/Solution Speech (赤木) Unit8 Nature (教) pp.79-81	(ラストラム) ・ Students will review their understanding of manner and how to apply it to their final presentations (赤木) ・ 自然に関連したトピックを聞き取り、質問をしたり、答えたりでき	エリック・ ラストロム 赤木 大介	A-7-2) 国際医療への貢献

					る。		
25 - 26		12.4	2 ~ 3	(ラーストロム) Unit 4: Matter - Problem/Solution Speech (赤木) Unit8 Nature (教) pp.82-83	(ラーストロム) ・ Students will understand all aspects of presentation and be able to successfully use them (赤木) ・ 英語の記事を理解して内容の分析 をしたり、コメントができる。	エリック・ ラーストロ ム 赤木 大介	A-7-2) 国際医 療への貢献
27 - 28		12.11	2 ~ 3	(ラーストロム) Final presentation (赤木) Unit8 Nature (教) pp.84-46	(ラーストロム) ・ Student final presentations (赤木) ・ 自然をトピックした説明が英語で できる。	エリック・ ラーストロ ム 赤木 大介	A-7-2) 国際医 療への貢献
29 - 30		12.18	2 ~ 3	(ラーストロム) Final presentation (赤木) Presentation task2	(ラーストロム) ・ Student final presentations (赤木) ・ 英語でのプレゼンを練習して、自 分の意見を伝えることができる。	エリック・ ラーストロ ム 赤木 大介	A-7-2) 国際医 療への貢献

